

「令和4年度 森林及び林業の動向」資料一覧

特集 気候変動に対応した治山対策

資料 特-1	世界の年平均降水量の分布	4
資料 特-2	山地災害防止機能・土壌保全機能	5
資料 特-3	表層崩壊と深層崩壊	5
資料 特-4	水源涵養機能(洪水緩和機能)	6
資料 特-5	治山事業の主な工法	7
資料 特-6	治山対策にかかる歴史的変遷	9
資料 特-7	戦前に着手された治山事業の事例	9
資料 特-8	保安林面積の推移	10
資料 特-9	第1回「植樹行事ならびに国土緑化大会」(第1回の全国植樹祭)	10
資料 特-10	治山事業による森林の回復事例	11
資料 特-11	風化花崗岩地帯における裸地と林地の土砂流出量	12
資料 特-12	長野県伊那谷地域における山地災害の減少	13
資料 特-13	静岡県伊豆地域における山地災害の減少	13
資料 特-14	新潟県下越地域における治山対策と森林整備の効果	14
資料 特-15	日本国内の短時間強雨の発生頻度の推移	16
資料 特-16	昭和57(1982)年以降の旬降水量の総和の順位	16
資料 特-17	今後の雨の降り方の変化予測	17
資料 特-18	山地災害の発生箇所数と1箇所当たりの被害額の推移	17
資料 特-19	表層よりもやや深い層からの崩壊の発生とその対応方向	18
資料 特-20	溪流の侵食量の増加とその対応方向	19
資料 特-21	線状降水帯の発生による山地災害の同時多発化	20
資料 特-22	流木災害の激甚化	20
資料 特-23	「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による 効果事例	22
資料 特-24	流域治水の取組	22
資料 特-25	治山施設の長寿命化・機能強化	23
資料 特-26	治山事業におけるICTの活用	23
資料 特-27	山地災害に関する情報の提供	24

第1章 森林の整備・保全

資料 I-1	人工林の齢級構成の変化	38
資料 I-2	我が国の森林蓄積の推移	39
資料 I-3	森林面積の内訳	39
資料 I-4	森林に期待する働きの変遷	40
資料 I-5	我が国の二酸化炭素吸収量(令和3(2021)年度)	40
資料 I-6	「森林・林業基本計画」における森林の有する多面的機能の 発揮に関する目標	41
資料 I-7	「森林・林業基本計画」における木材供給量の目標と総需要量の 見通し	41
資料 I-8	森林・林業基本計画のポイント	42
資料 I-9	全国森林計画における計画量	43
資料 I-10	森林整備の実施状況(令和3(2021)年度)	48
資料 I-11	山行苗木の生産量の推移	48
資料 I-12	特定母樹の指定状況	49
資料 I-13	令和3(2021)年度特定苗木の樹種別生産実績	49

資料 I - 14	路網整備における路網区分及び役割	51
資料 I - 15	林内路網の現状と整備の目安	51
資料 I - 16	森林経営管理制度の進捗状況(累計)	52
資料 I - 17	市町村における森林環境譲与税の活用状況	53
資料 I - 18	森林づくり活動を実施している団体の数の推移	57
資料 I - 19	企業による森林づくり活動の実施箇所数の推移	57
資料 I - 20	森林管理プロジェクトの登録件数の推移(累計)	58
資料 I - 21	漫画を活用した森林・林業の発信	59
資料 I - 22	保安林の種類別面積	61
資料 I - 23	林地開発許可制度の見直しの概要	62
資料 I - 24	近年の山地災害等に伴う被害	63
資料 I - 25	主要な野生鳥獣による森林被害面積の推移	66
資料 I - 26	松くい虫被害量(材積)の推移	68
資料 I - 27	ナラ枯れ被害量(材積)の推移	69
資料 I - 28	林野火災の発生件数及び焼損面積の推移	70
資料 I - 29	世界の森林面積の変化(1990-2020年)	71
資料 I - 30	モンテリオール・プロセスの7基準54指標(2008年)	72
資料 I - 31	主要国における認証森林面積とその割合	73
資料 I - 32	我が国におけるFSC及びSGECの認証面積の推移	73
資料 I - 33	パリ協定の概要	75
資料 I - 34	我が国の温室効果ガス排出削減と森林吸収量の目標	75
資料 I - 35	「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」(2022年)における 主な森林関係部分の概要	77
資料 I - 36	独立行政法人国際協力機構(JICA)を通じた森林・林業分野の 技術協力プロジェクト等(累計)	77

第II章 林業と山村(中山間地域)

資料 II - 1	林業産出額の推移	80
資料 II - 2	国産材の素材生産量の推移	81
資料 II - 3	全国平均山元立木価格の推移	81
資料 II - 4	林家の数の推移	82
資料 II - 5	林家の規模別の保有山林面積推移	82
資料 II - 6	林業経営体数の推移	83
資料 II - 7	林業経営体数の組織形態別内訳	83
資料 II - 8	林業経営体の規模別の保有山林面積推移	84
資料 II - 9	組織形態別の作業面積の推移	84
資料 II - 10	生産形態別及び組織形態別の素材生産量	85
資料 II - 11	素材生産量規模別の林業経営体数等の推移	85
資料 II - 12	組織形態別の素材生産量等の推移	85
資料 II - 13	総事業取扱高別の森林組合数及び割合	86
資料 II - 14	林業従事者数の推移	89
資料 II - 15	年齢階層別の林業従事者数の推移	89
資料 II - 16	新規就業者数(現場技能者として林業経営体へ新規に就業した者の 集計値)の推移	90
資料 II - 17	林業の労働災害発生件数の推移	91
資料 II - 18	森林組合の雇用労働者の年間就業日数	93

資料Ⅱ-19	技能検定の試行試験	94
資料Ⅱ-20	現在の主伐と再生林の収支イメージ	95
資料Ⅱ-21	森林クラウドを活用した森林施業の集約化のイメージ	97
資料Ⅱ-22	「新しい林業」に向け期待される新技術	98
資料Ⅱ-23	新たな林業機械の開発	101
資料Ⅱ-24	きのこ類生産量の推移	102
資料Ⅱ-25	木炭の生産量の推移	104
資料Ⅱ-26	販売向け薪の生産量と価格の推移	104
資料Ⅱ-27	竹材の国内生産量の推移	105
資料Ⅱ-28	国産漆の生産量と自給率の推移	105
資料Ⅱ-29	消滅集落跡地の森林・林地の管理状況	107
資料Ⅱ-30	山村地域の集落で発生している問題上位10回答(複数回答)	107
資料Ⅱ-31	地方移住に関する相談・問合せ数	108
資料Ⅱ-32	森林空間利用に対するニーズ(複数回答)	111

第Ⅲ章 木材需給・利用と木材産業

資料Ⅲ-1	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸入量(主要国別)	115
資料Ⅲ-2	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸出量(主要国別)	115
資料Ⅲ-3	木材需要量の推移	117
資料Ⅲ-4	木材供給量と木材自給率の推移	118
資料Ⅲ-5	品目別の木材輸入量の推移	119
資料Ⅲ-6	令和3(2021)年の木材需給の構成	120
資料Ⅲ-7	我が国の木材価格の推移	121
資料Ⅲ-8	循環利用のイメージ	125
資料Ⅲ-9	用途別・階層別・構造別の着工建築物の床面積	126
資料Ⅲ-10	新設住宅着工戸数と木造率の推移	127
資料Ⅲ-11	建築用製材における人工乾燥材の割合	128
資料Ⅲ-12	木造軸組住宅の部材別木材使用割合(大手住宅メーカー)	128
資料Ⅲ-13	木造軸組住宅の部材別木材使用割合(工務店)	129
資料Ⅲ-14	低層非住宅の規模別着工床面積と木造率	129
資料Ⅲ-15	木材利用の事例	130-131
資料Ⅲ-16	建築物木材利用促進協定の代表的な形態	132
資料Ⅲ-17	事業者等と国との協定締結の実績	132
資料Ⅲ-18	建築物全体と公共建築物の木造率の推移	133
資料Ⅲ-19	都道府県別公共建築物の木造率(令和3(2021)年度)	134
資料Ⅲ-20	改質リグニンを使用した製品開発の例	135
資料Ⅲ-21	燃料材の国内消費量の推移	136
資料Ⅲ-22	事業所が所有する利用機器別木質バイオマス利用量	136
資料Ⅲ-23	ウッド・チェンジロゴマーク 木づかいサイクルマーク	140
資料Ⅲ-24	ウッドデザイン賞の受賞作品の例	141
資料Ⅲ-25	林福連携による木工製品の例	141
資料Ⅲ-26	我が国の木材輸出額の推移	142
資料Ⅲ-27	日本木材輸出振興協会の取組	143
資料Ⅲ-28	木材・木製品製造業の生産規模の推移	145
資料Ⅲ-29	製材・合板工場等の分布及び原木生産量の変化	147
資料Ⅲ-30	製材工場の規模別工場数と国産原木消費量	147

資料Ⅲ－31	合板工場の規模別工場数と国産原木消費量	147
資料Ⅲ－32	素材生産者から製材工場等への直送量の推移	148
資料Ⅲ－33	丸太末口直径別の供給量見込み	149
資料Ⅲ－34	製材品出荷量(用途別)の推移	153
資料Ⅲ－35	国内の製材工場における原木入荷量と国産材の割合	154
資料Ⅲ－36	製材工場の出力規模別の原木消費量の推移	154
資料Ⅲ－37	集成材の供給量の推移	155
資料Ⅲ－38	合板用材の供給量の推移	156
資料Ⅲ－39	木材チップ用原木入荷量の推移	157

第Ⅳ章 国有林野の管理経営

資料Ⅳ－1	国有林野の分布	162
資料Ⅳ－2	国有林が果たすべき役割(複数回答3つまで)	163
資料Ⅳ－3	機能類型区分ごとの管理経営の考え方	164
資料Ⅳ－4	「保護林」と「緑の回廊」の位置図	167
資料Ⅳ－5	国有林野における世界自然遺産	167
資料Ⅳ－6	国有林野におけるコンテナ苗の植栽面積の推移	169
資料Ⅳ－7	森林共同施業団地の設定状況	169
資料Ⅳ－8	国有林野からの素材販売量の推移	171
資料Ⅳ－9	「レクリエーションの森」の設定状況	174
資料Ⅳ－10	「日本美しい森 お薦め国有林」の例	175

第Ⅴ章 東日本大震災からの復興

資料Ⅴ－1	東日本大震災による林野関係の被害	178
資料Ⅴ－2	岩手県、宮城県、福島県における素材生産量及び製材品出荷量の推移	180
資料Ⅴ－3	道の駅ふくしま(福島県福島市)	181
資料Ⅴ－4	福島県の森林内の空間線量率の推移	183
資料Ⅴ－5	東日本地域(北海道を除く17都県)におけるしいたけ生産量の推移	186